

【カリキュラムポリシー】

本研究科の教育目的は、「広い視野に立って精深な学識を授け、心身ともに豊かな健康・長寿に資する高度な研究能力を有する保健学分野の研究者及び指導者を養成すること」にある。その目的を達成するため、沖縄の豊かな島嶼、海洋性、亜熱帯自然環境及び社会環境を基盤とする保健学研究を行い、国内外の保健学に関する教育・研究者、指導者の養成及び保健医療分野の高度専門職業人の養成を目標とする。また、南に開かれた保健学研究科として、アジア太平洋諸国との国際学術交流を図り、国際性豊かな人材の養成を目指すと共にアジア・太平洋地域からの外国人留学生を積極的に受入れ、これらの地域における保健医療分野の教育・研究に貢献できる人材の養成を行う。

また、社会情勢や科学の進歩とともに求められる人材の変化に伴い、本研究科においても有職のまま大学院で学ぶものが増えている。本研究科においても、こうした社会人のリカレント教育として積極的受け入れを図り、キャリアアップを推進する。その目標達成のため、専任教員の確保はもとより、カリキュラムの整備、シラバスの Web 上での公開、遠隔講義の実施、ファカルティー・ディベロップメント (FD) の充実・強化を図る。並行して、高度専門職業人養成として社会的ニーズの高いがん専門看護師の養成を引き続き行い、新たに島嶼看護・在宅ケア実践に向けた人材養成のため、地域看護専攻課程を新設し、地域看護専門看護師の養成を行い、専門職業人養成の拡大を図るとともに、本研究科と他大学との単位互換が出来るようにする。

さらに、本研究科を含め Asia Pacific Academic Consortium for Public Health (APACPH) のメンバー大学が中心となって設立された Cyber University for Health による英語による遠隔講義・単位互換体制の推進を図る。並行して、FD の継続的なシステムとして、外国人招聘教授による講演、特別講義を積極的に推進し、教員を含めた学生の教育、研究のスキルの向上を図り、欧文誌への投稿、国際学会発表を促進していく。

【ディプロマポリシー】

本研究科は、広い視野に立って精深な学識を授け、心身ともに豊かな健康・長寿に資する高度な研究能力を有する保健学分野の研究者及び指導者を養成することを目的としています。

○前期課程

1. 国際性豊かな知識・技能を身につけている。
2. 健康開発・病態解析の科学的評価・研究ができること。
3. 島嶼看護・在宅ケア実践などに必要な知識・能力を身につけている。

○後期課程

1. 健康長寿の維持増進及び再生に資する方策の開発ができること。
2. 健康資源の解明に関する研究を推進できること。
3. アジア・太平洋地域における島嶼保健の課題と対策、特に感染症予防対策についても総合的に研究ができること。